

# 2014年度 決算説明会

2015年5月20日



レスポンシブル・ケア



(財)財務会計基準機構会員

FASF

1. 関西ペイントグループの状況

---

2. 経営成績の概況および予想

---

3. 各分野の状況

---

4. 各地域の状況

---

5. 2015年度 業績予想について

---

6. 第14次中期経営計画の進捗について

---

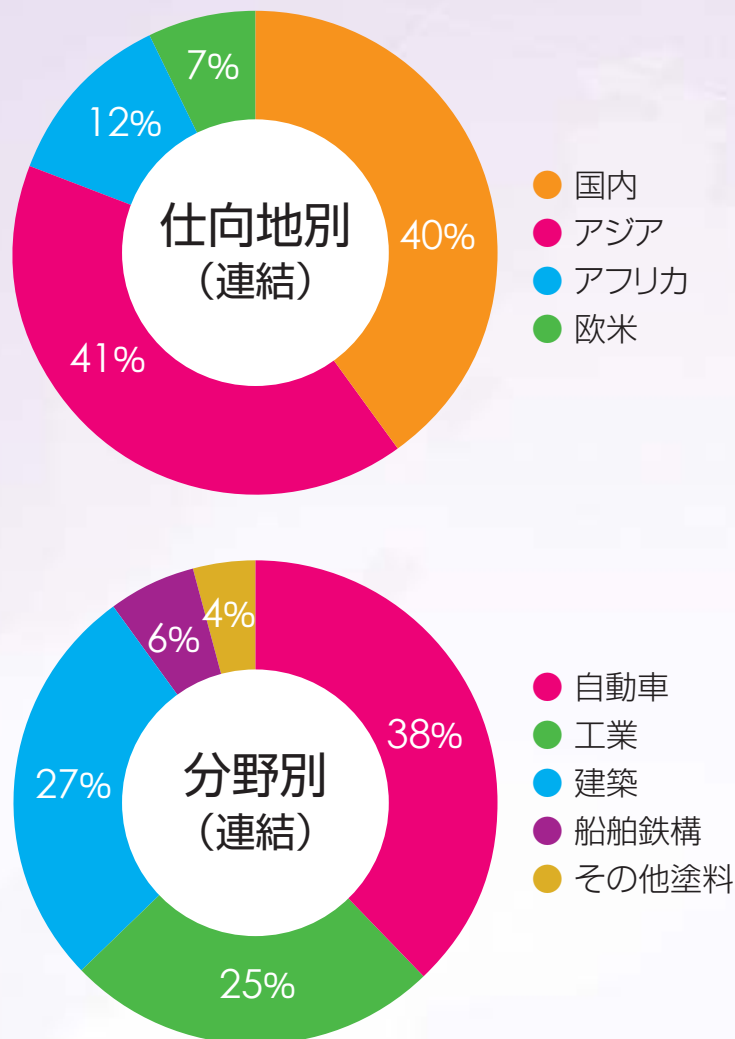
# 2014年度 決算説明会

2015年5月20日

# 2014年度 連結売上高 3,493億円

2014年度 単独売上高 1,474億円(国内シェア20%)

設立: 1918年(大正7年)5月  
 資本金: 256億円(2015年3月31日現在)  
 (発行済株式数: 272百万株)  
 従業員数: 12,086名(2015年3月31日現在)



## ■ 主なグループ会社と売上高 ( )内は2013年度 (単位: 億円)

	国内	海外		
連 結	関西ペイント販売 (自動車・工業・建築、販売)	1,022 (1,041)	KNPL(インド) (建築・自動車、製造)	695 (550)
	NKMコーティングス (船舶、販売)	111 (103)	KPAL(南アフリカ) (建築・自動車、製造)	395 (348)
	カンペ商事 (工業、販売)	79 (81)	TKP(タイ) (自動車・工業、製造)	163 (169)
	カンペハピオ (建築、製造)	64 (66)	KABS(トルコ) (自動車・工業、製造)	185 (156)
	他10社		他アジア23社、アフリカ25社、その他3社	
持 分 法	扇商会 (自動車・工業、販売)	236 (233)	湖南湘江関西(中国) (自動車、製造)	391 (281)
	エル・ミズホ (工業、販売)	57 (55)	PKAF・US(米) (自動車、販売)	164 (145)
	他13社		中遠関西(上海)(中国) (船舶鉄構、製造)	119 (73)
			他アジア11社、アフリカ4社、その他9社	

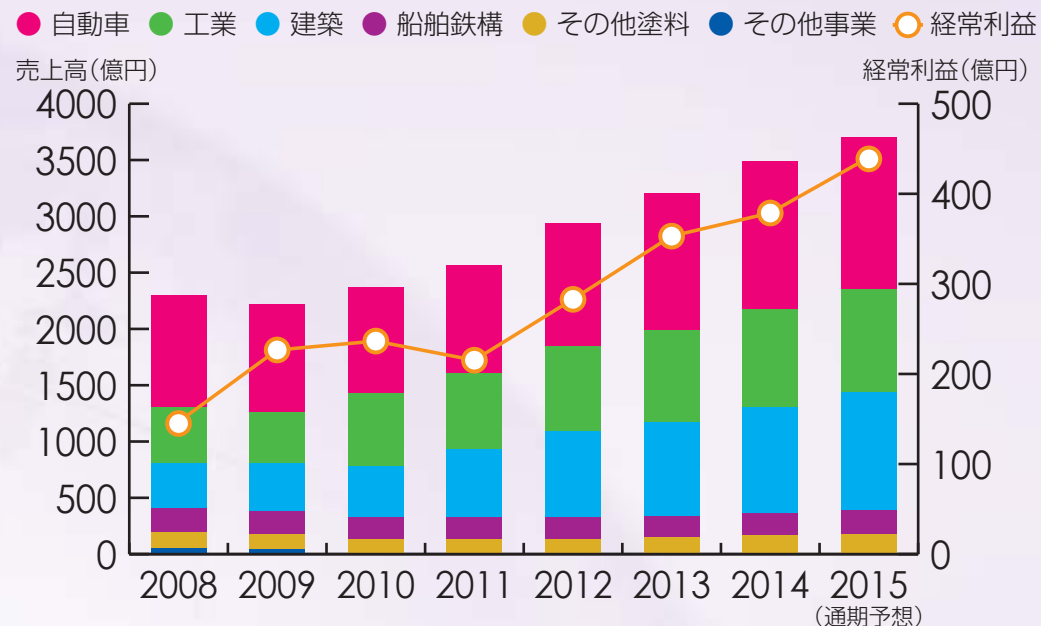
## ② 経営成績の概況および予想

### 連結(業績)

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	2,299	2,224	2,369	2,565	2,940	3,204	3,493	3,700
経常利益	145	226	235	214	283	354	377	440

前年度比、増収増益 (売上高:+9.0%、経常利益:+6.4%)

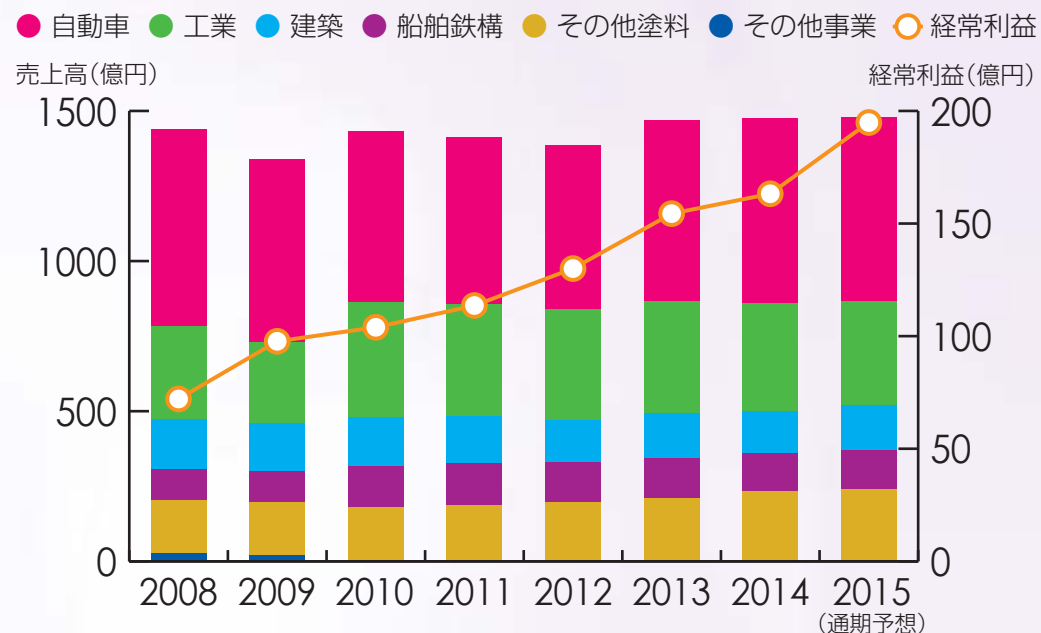


### 単独(業績)

#### ■ 通期

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	1,439	1,340	1,431	1,411	1,386	1,468	1,474	1,480
経常利益	72	97	104	113	130	154	163	195

前年度比、増収増益 (売上高:+0.4%、経常利益:+5.7%)

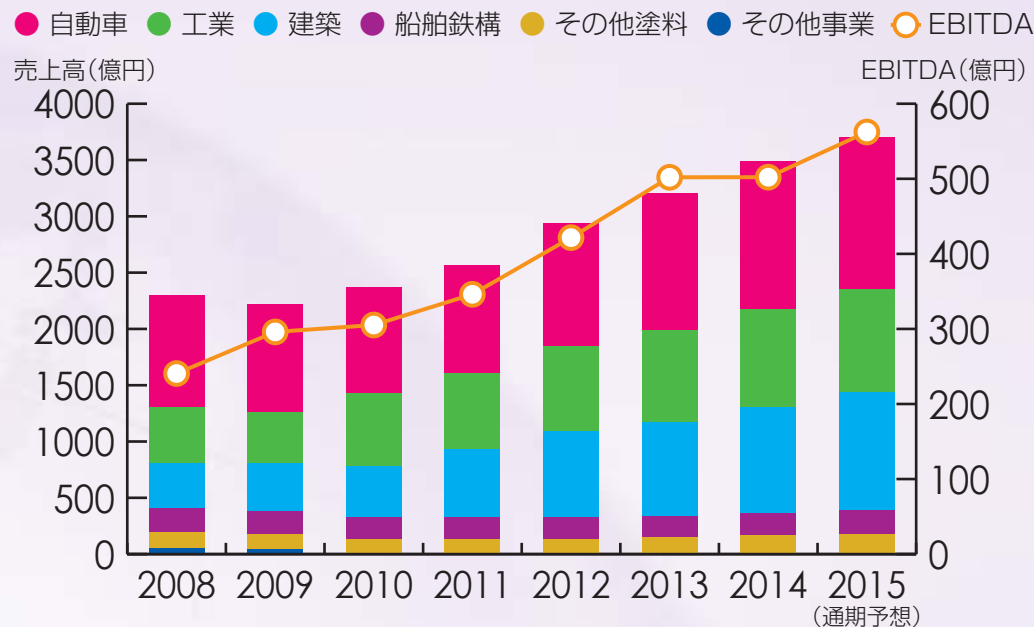


## 連 結 (EBITDA)

### ■ 通期

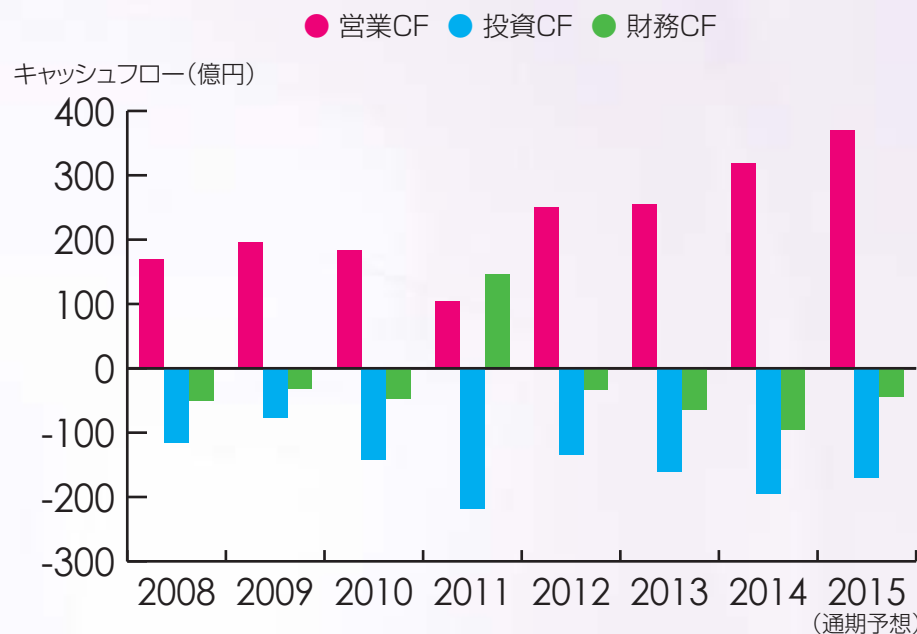
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	2,299	2,224	2,369	2,565	2,940	3,204	3,493	3,700
EBITDA	241	296	305	346	422	502	502	580

※EBITDAは、税金等調整前純利益から加減算し算出



## 連 結 (キャッシュフロー)

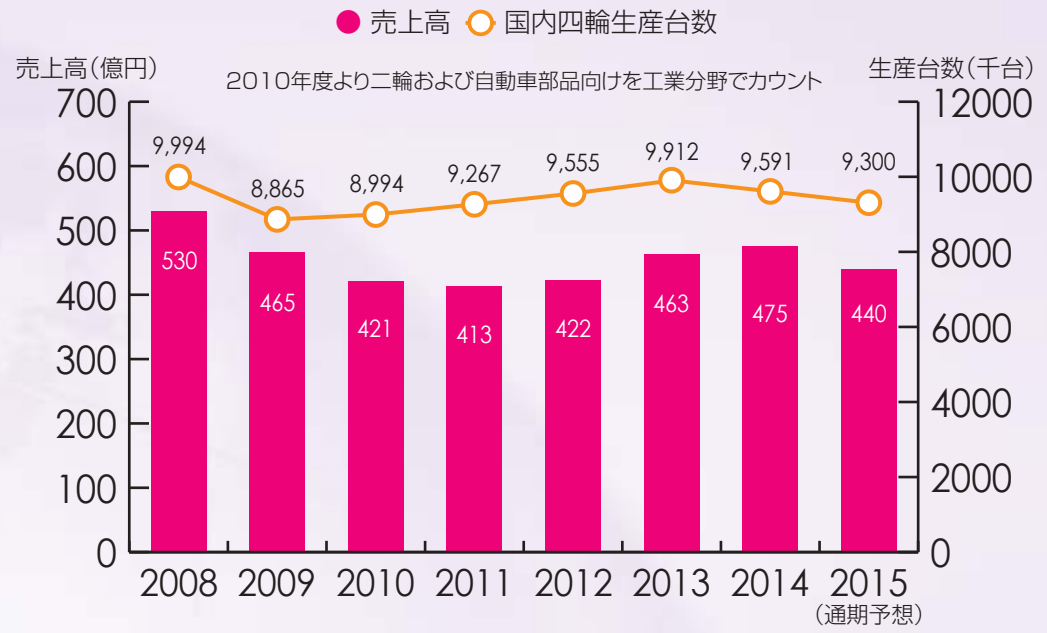
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
営業CF	169	196	183	104	251	255	319	370
投資CF	-116	-77	-142	-219	-134	-161	-195	-170
財務CF	-51	-32	-47	147	-34	-65	-96	-45



## 国内自動車塗料(補修用を除く)

- 年度前半は、自動車生産台数は前年を上回ったが、年度後半は、前年度の消費増税前の駆け込み需要の反動を大きく受けた  
通年での自動車生産台数は前年を下回ったものの、主要顧客向けの需要が伸び増収の着地
- ▷ 国内自動車生産台数は前年を下回り、原油価格下落による価格是正もあり前年比減収を見込む
- ▷ 2015年度国内自動車生産台数は930万台を見込む

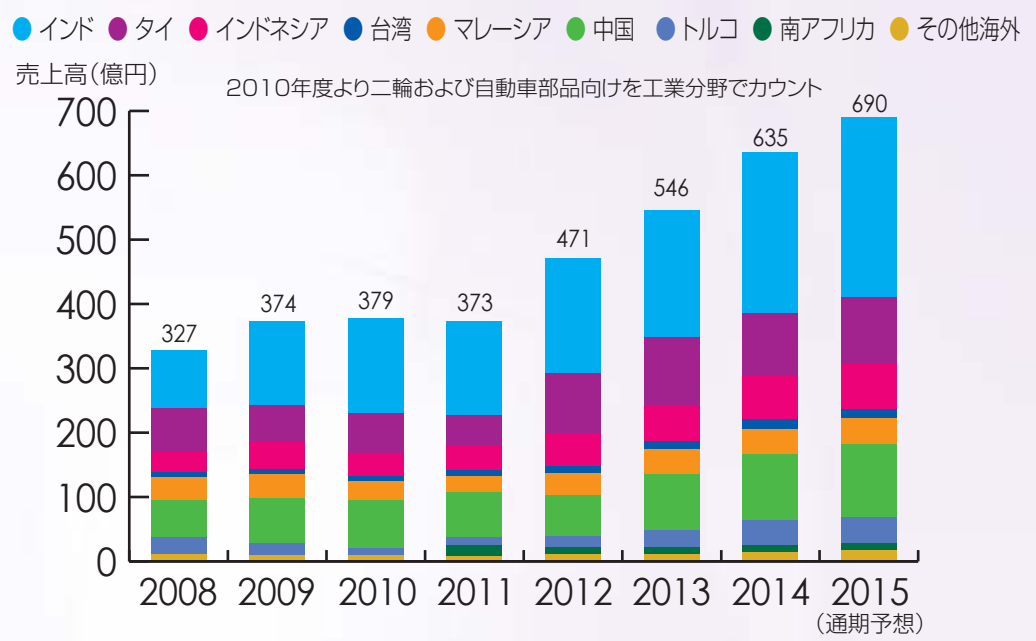
連結売上高(補修用塗料を除く)



## 海外自動車塗料(補修用を除く)

- インドは、主要顧客の自動車生産の増加により前年比増収
- インドネシアは、自動車生産の増加により前年比増収
- タイは、政情不安の影響が長期化し前年比減収
- ▷ 引き続き自動車生産の増加などによる需要拡大を見込む
- ▷ 欧米系自動車メーカーへの参入・拡大を更に加速させる

連結売上高(補修用塗料を除く)



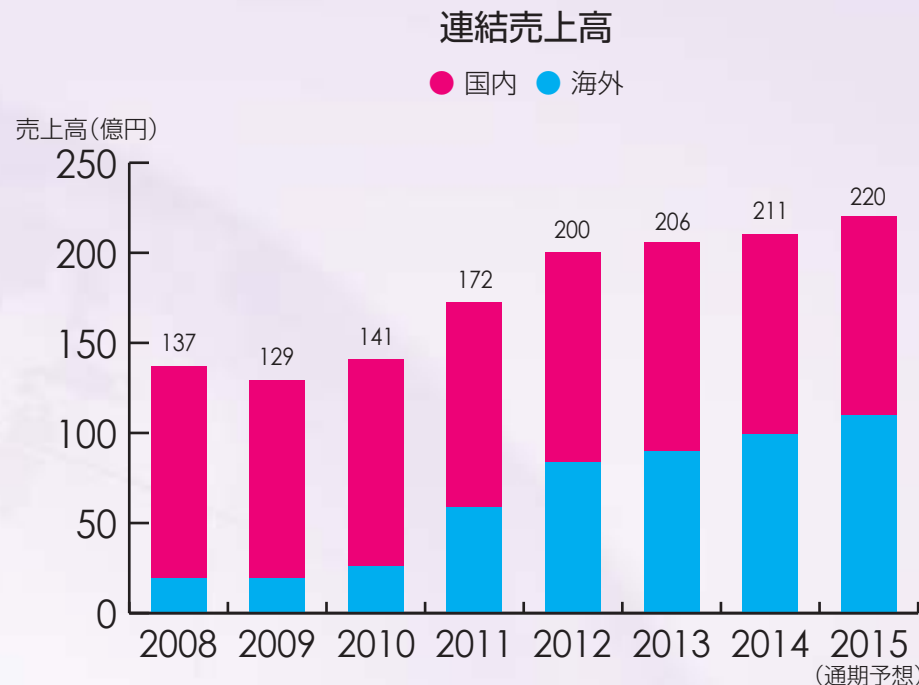
## 自動車用分野(補修)

### ■ 国内

- 消費税増税の影響により需要が低迷
- ▷ 環境配慮型塗料の展開などにより拡販促進

### ■ 海外

- アフリカは、経済成長は低水準ながらも需要は拡大し、前年比増収
- ▷ 新興国での参入・展開を目指す



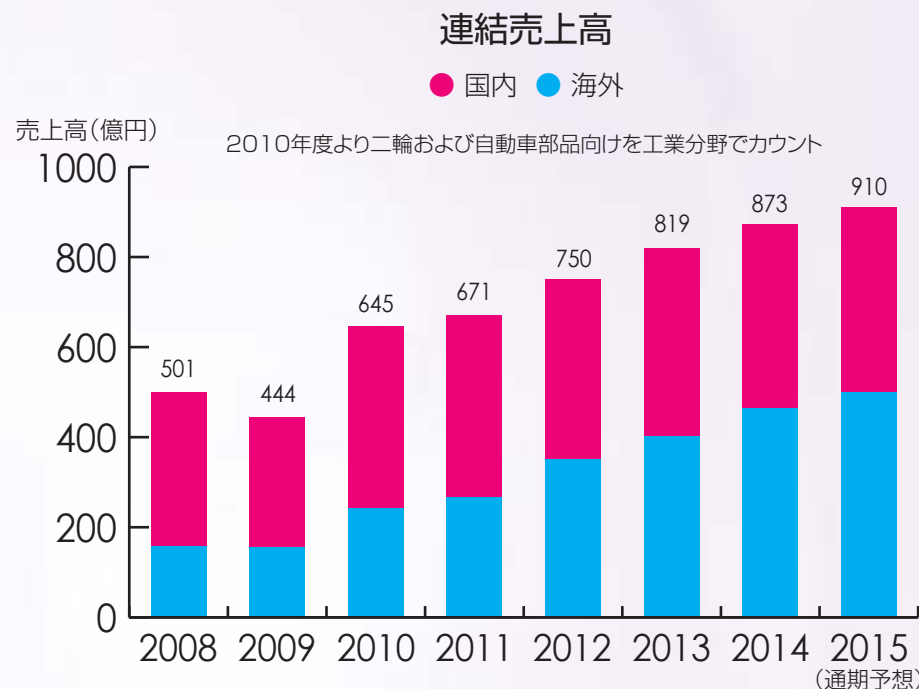
## 工業分野

### ■ 国内

- 自動車部品向けは増加したものの、主に建設機械向け等が減少し、前年比減収
- ▷ 顧客ニーズに対応した市場競争力の高い製品を供給していくことによりシェア拡大を目指す

### ■ 海外

- 主にインド、アフリカでの需要拡大が続き前年比増収
- 中国で粉体塗料製造・販売会社を設立
- ▷ 海外シフトする日系メーカーの需要獲得に加え、新たな顧客の需要獲得を目指す



## 建築分野

### ■ 国内

- 消費税増税の影響や職人不足等により需要が低迷し、前年比減収
- ▷ 機能性製品の市場投入やボリュームゾーン製品の拡販により売上拡大を目指す

### ■ 海外

- インドは、経済成長に伴い大きく前年比増収
- アフリカは、経済成長は低水準ながらも、販売活動の促進などにより前年比増収
- ▷ 引き続き、展開地域での需要拡大を見込む
- ▷ 展開地域拡大を目指し、スリランカ、ミャンマーで合併会社設立を決定

## 船舶鉄構分野

### ■ 国内

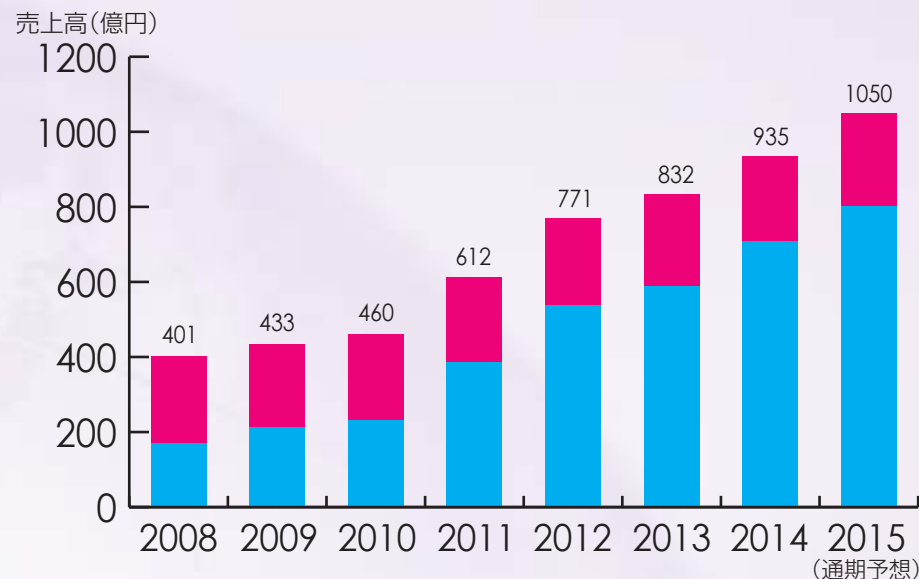
- 船舶分野は、市場の回復もあり前年比増収
- 防食分野は、市況低迷により前年比微減収
- ▷ 国土強靱化計画、東京オリンピック開催などに向けた投資需要の獲得を目指す

### ■ 海外

- マレーシアで防食塗料事業会社の株式取得もあり前年比増収
- ▷ 中国での防食塗料の事業展開を加速させる
- ▷ 新興国でのインフラ整備に伴う防食塗料での参入・展開を目指す

連結売上高

● 国内 ● 海外



連結売上高

● 国内 ● 海外

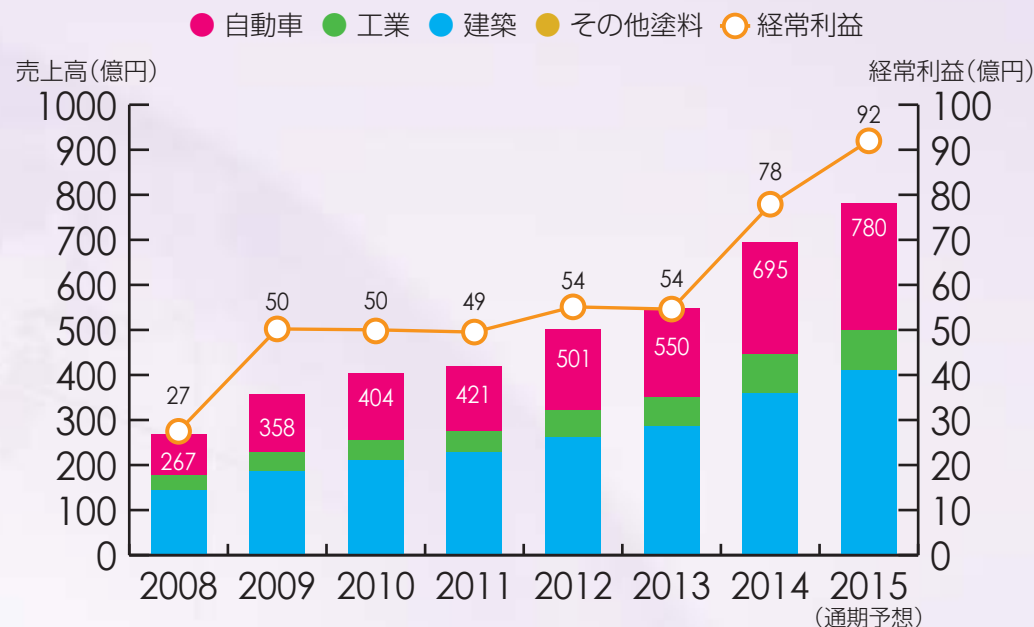




## インド・カンサイネロラックペイント(KNPL)社

- 自動車分野は、主要顧客の自動車生産増加により売上が伸長
- 建築分野は、経済成長により大きく売上が伸長
- 大きく売上げを伸ばしたことにより、前年比大幅増益
- ▷ 今後も、自動車、建築分野とも需要拡大を見込む
- ▷ 引き続き需要拡大に対応する生産体制の整備を計画

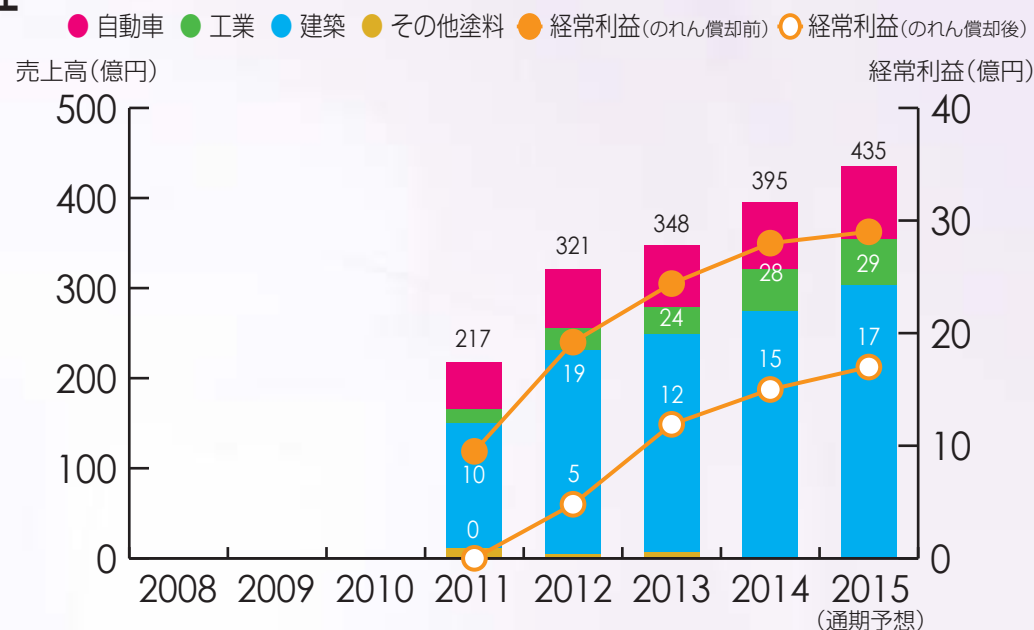
インド・KNPL社の業績推移と予想



## 南アフリカ・カンサイ・プラスコン・アフリカ(KPAL)社

- 南アフリカ経済が低調に推移するなか、販売活動の促進などにより需要は拡大し前年比増収
- 2013年7月に買収したジンバブエ・アストラインダストリーズ社の業績もフル寄与
- 事業拡大に向けた販売促進費用の積極投入もあり前年比増益
- ▷ 引き続き需要拡大に向けた取り組みを強化し、売上拡大を目指す
- ▷ 中長期的には、未展開地域・国への市場参入を図り、アフリカ経済の成長に伴う業績拡大を見込む

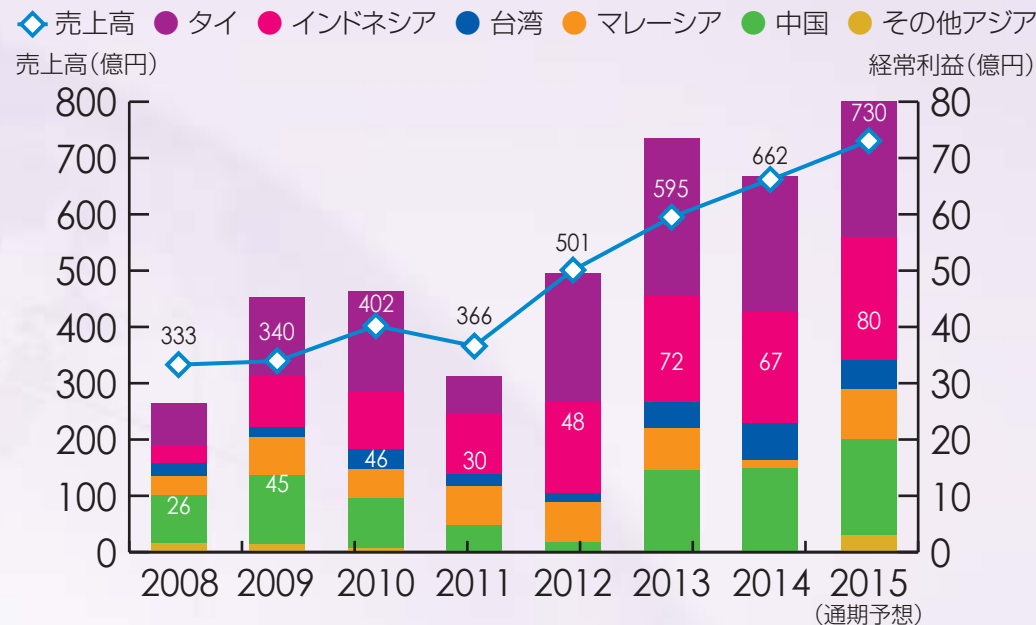
南アフリカ・KPAL社の業績推移と予想



## アジア連結子会社経常利益

- タイは、政情不安の長期化により需要低迷が長引き前年比減益
- インドネシアは、自動車生産台数増加および内需が堅調に推移し前年比増益
- 中国は、自動車分野での主要顧客向けが伸び悩んだことなどにより前年比横ばい
- ▷ 各国とも経済成長は鈍化してもなお伸長は続き需要拡大の継続および増益を見込む

アジア連結子会社の業績推移と予想



## 欧州連結子会社経常利益

- トルコは、自動車分野での既存顧客の需要拡大に加え、新規顧客獲得もあり売上が伸長
- ▷ 引き続き需要拡大による売上伸長等により前年比増益を見込む

欧州連結子会社の業績推移と予想

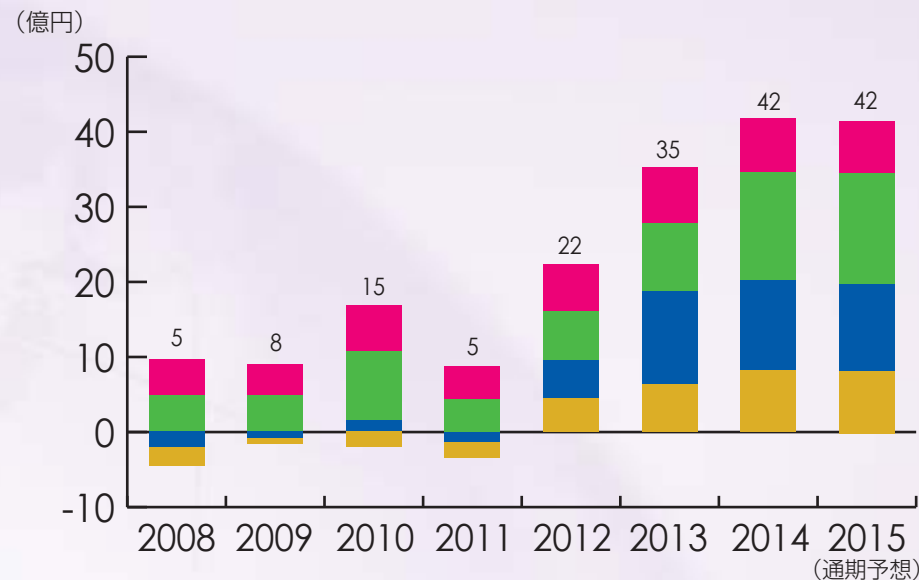


## 持分法利益

- 国内は消費税増税の反動が懸念されたものの、安定的に推移し前年比横ばい
- 中国は自動車生産増加などにより前年比増益
- 欧米は、北米での自動車生産は堅調もわずかに前年比減益
- ▷ 中国は、非日系自動車向け事業の伸長などにより前年比増益を見込む

持分法利益(単純合算)

● 国内 ● 中国 ● 欧米 ● その他



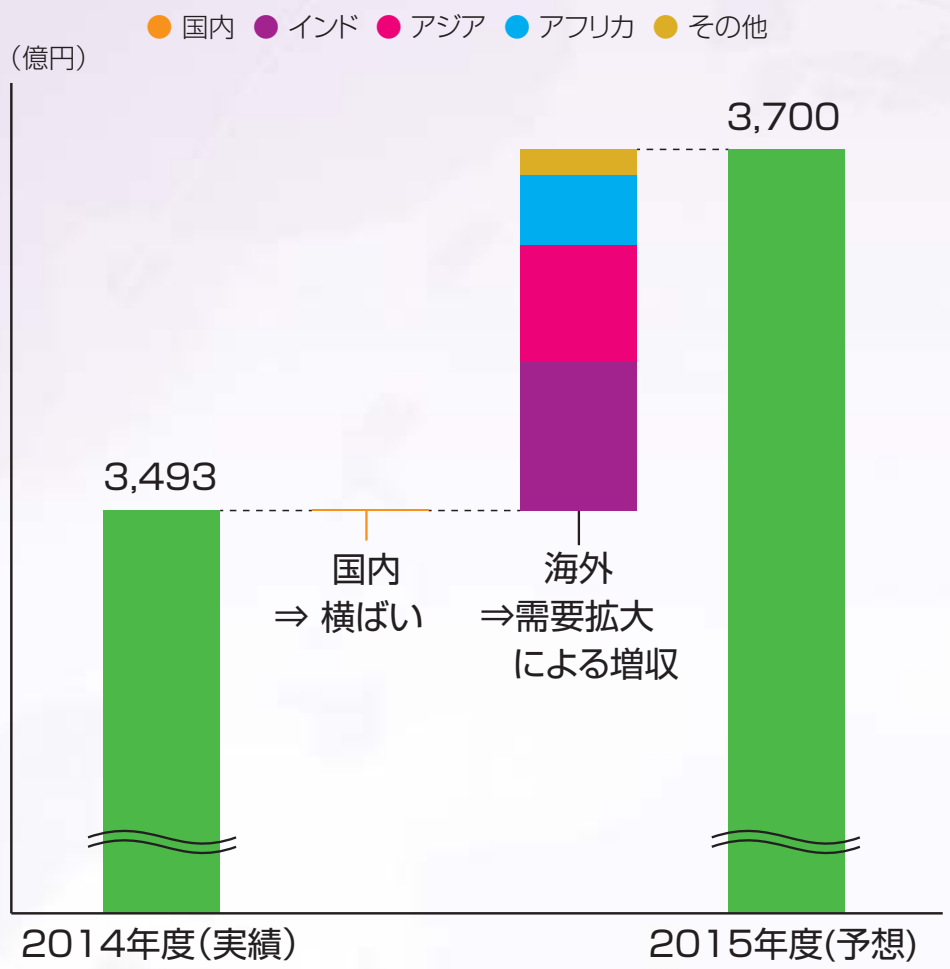
【2014年度実績比】

<p>売上高</p>	<p><b>【国内】</b> 自動車生産台数は、前年度を下回る想定に加え、昨年度からの原油価格の下落に伴い、販売価格の見直しも行われるものの、特に、建築分野での拡販促進などにより前年並みを見込む。</p> <p><b>【海外】</b> 地域によっては、一時的な需要停滞が懸念されるものの、引き続き新興国を中心に需要は拡大し、増収を想定。特にインドの需要の拡大は強く、増収の牽引役となる。</p>
<p>原価・経費</p>	<p>原材料価格は、昨年度からの原油価格の下落に伴い、緩やかな下落を想定。引続きコスト低減活動を推進し、収益性向上を目指す。特に国内においては、コスト低減の取り組みをいっそう加速させる。</p>
<p>経常利益</p>	<p>前年比63億円の増益                  単独+32億円、国内連結▲6億円、海外連結+33億円                  持分法投資損益+0億円、受取配当等の相殺他+4億円</p>

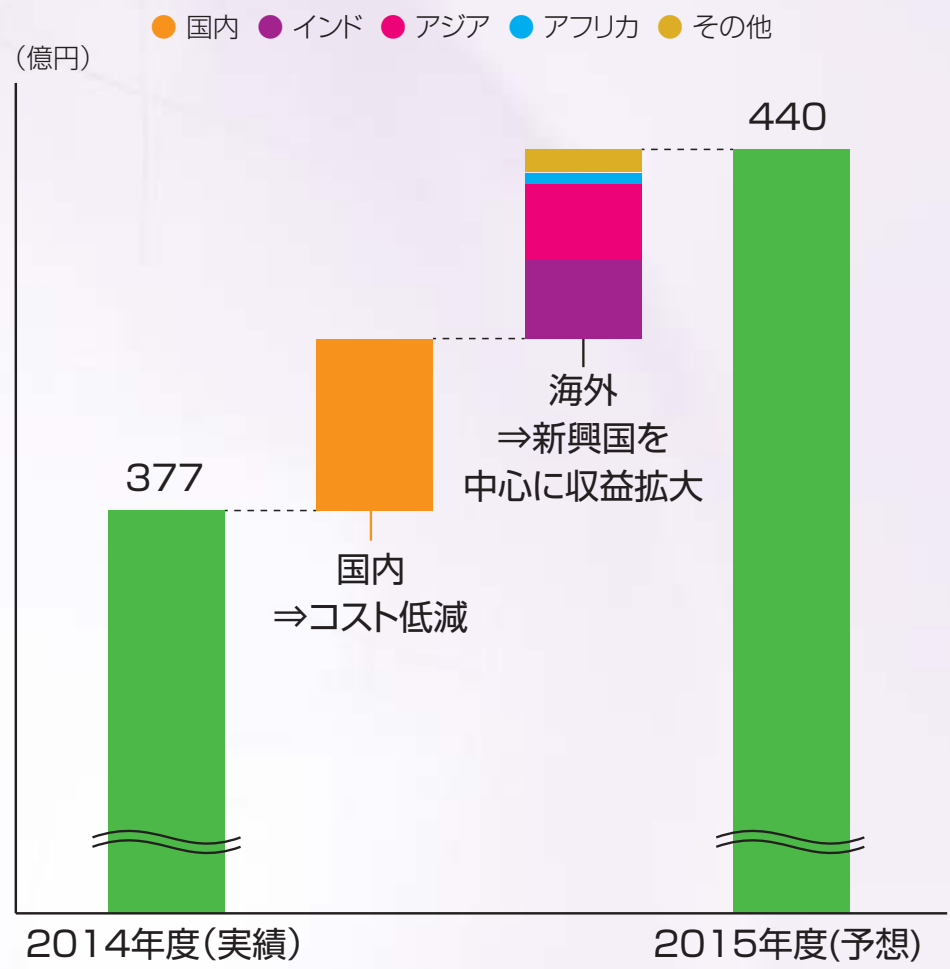
国内は、売上が前年並みと想定されるなか、コスト低減の取り組みを一層加速させることで増益を見込む。

海外は、新興国を中心に需要拡大による増益を見込む。  
特にインドでの需要拡大は強く、牽引役となる。

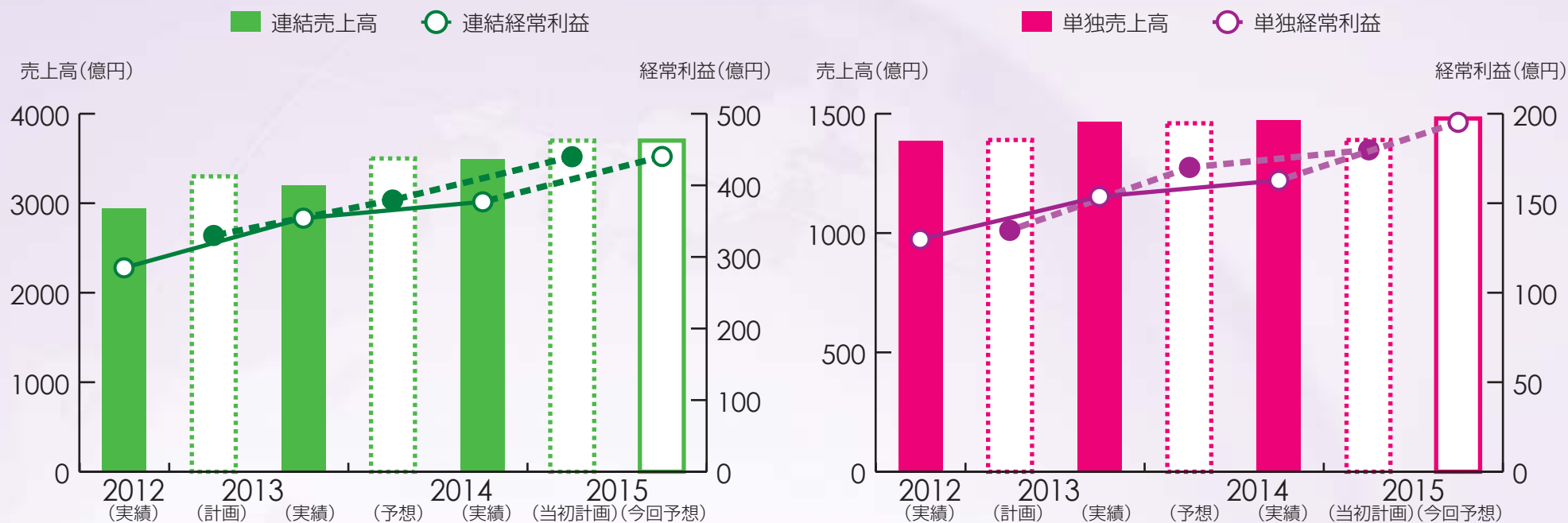
連結売上高



連結経常利益



2015年度の連結業績計画は、売上・経常利益ともに当初計画の達成を目指す。



■ 連結

	2012	2013	2014	2015	
	実績	実績	実績	当初計画	今回予想
売上高	2,940	3,204	3,493	3,700	3,700
経常利益	283	354	377	440	440

■ 単独

	2012	2013	2014	2015	
	実績	実績	実績	当初計画	今回予想
売上高	1,386	1,468	1,474	1,390	1,480
経常利益	130	154	163	180	195

重点施策	内 容	これまでの進捗状況など
グローバル化の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新興国を中心とする海外事業の拡大</li> <li>② 未参入地域・分野での事業展開</li> <li>③ 市場ニーズへの対応 (コスト・品質の最適化による競争力強化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジンバブエ アストラインダストリーズ社の株式取得</li> <li>○ メキシコ DNT KANSAI メキシカーナ社設立、営業開始</li> <li>○ マレーシア PLCラボラトリー社の株式取得</li> <li>○ 中国 肇慶関西聖聯粉末塗料科技社設立、営業開始</li> <li>○ ミャンマー 関西ペイントミャンマー社設立</li> <li>○ スリランカ 関西ペイントランカ社設立</li> <li>○ 需要増に対応する生産体制の整備</li> </ul>
収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 海外は事業規模拡大と効率向上による利益拡大</li> <li>② 国内はトータルコストの低減と競争力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シェアアップ、非日系顧客への事業展開に向けた取り組みを推進</li> <li>○ マンチェスター・ユナイテッドを活用したプロモーション活動推進</li> <li>○ 国内事業の抜本的収益改善を行なうプロジェクトを推進</li> <li>○ 国内拠点体制の見直し ⇒東地区物流・カラーセンター機能の集約拠点の操業開始 ⇒尼崎事業所の再整備を実施中 (関西地区の物流・カラーセンター集約拠点を尼崎事業所内に設立完了) ⇒福利厚生施設土地を売却</li> </ul>
グループ経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営資源の共有化と有効活用によるシナジー最大化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術、調達、製造、マーケティングなどのグローバル経営リソースを共有化するワークチームによる活動を強化していく</li> <li>○ グローバル化に対応する体制構築を推進中</li> </ul>

## 関西ペイントミャンマー社の設立 ～成長期待の大きいメコン地域での事業拡大～

### 概要

- 所在地 ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市
- 主要製品 建築用塗料・工業用塗料など
- 資本金 15百万US\$ (約18億円)
- 出資比率 当社グループ51%  
(当社およびマレーシア子会社から出資)
- 販売目標 2020年度に約24億円

### ねらいほか

- 経済成長が著しいメコン地域においてタイ、ベトナムに加え、成長期待が大きいミャンマー市場への本格的な事業展開・拡大を目指し、製造・販売拠点を設立。
- 合併パートナーは、当社の輸入代理店として、ネビドー国際空港での採用など数多くの大型建築プロジェクトの実績を持つ。
- 当社グループの有するグローバル企業としての技術力、ブランド力とパートナーのミャンマーでの販売力などのお互いの強みを活かし、業績拡大を目指す。





## 関西ペイントスリランカ社の設立 ～インド周辺国への事業拡大～

### 概要

- 所在地 スリランカ民主社会主義共和国
- 主要製品 建築用塗料
- 資本金 約6億円
- 出資比率 当社グループ60%  
(インド子会社 (KNPL社) から出資)
- 販売目標 2020年度に15億円超

### ねらいほか

- 経済成長が著しいスリランカでの塗料市場展開を目指し、隣国であるインドKNPL社と現地パートナーの出資により製造・販売拠点を設立。
- 合併パートナーは、メディア関連をはじめ、建築資材、日用品の事業などを幅広く展開するスリランカ最大の民間複合企業。
- KNPL社の塗料技術、ブランド力、信用力とパートナーのスリランカでの認知度、販売力などのお互いの強みを活かし、業績拡大を目指す。



# 関西ペイントは貢献します

塗料事業は成長産業です

総合塗料メーカーとして、世界のマーケットで

競争力の高い製品を提案し、お客様の満足に応え続けます

そして

真のグローバルカンパニーを目指します



この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。